

**施策 23 図書館サービスの充実****現状・課題**

- 本市の図書館サービスは、令和3年3月27日に開館した「小牧市中央図書館」のほか、多世代交流プラザ内の「えほん図書館」、3か所の市民センターの「図書室」により、市域全体にサービス提供を行っています。
- 市民が図書館に求める機能やサービスは、時代とともに変化してきています。そのため「中央図書館」は、これまでの貸出中心の図書館から、多くの市民が望む居心地の良い滞在型の図書館への転換を図りました。
- 「中央図書館」の建設に合わせ、図書館運営のICT化を進め、ICタグによる蔵書の管理、自動貸出機や自動返却機等の機器の導入、Wi-Fi環境の整備、タブレット端末や電子書籍の貸出しなど、利用者の利便性向上を図りました。
- 近年、本市の図書館資料の「貸出利用者数」「貸出点数」はいずれも減少傾向が続いていましたが、新たに開館した「中央図書館」に多くの利用者が訪れ、それに伴い「貸出利用者数」「貸出点数」が増加しています。この傾向を維持するため、引き続き来館者や貸出利用者数を増やす取り組みが必要です。
- 「中央図書館」には、1階にイベントスペース、4階に多目的室があり、多くの市民が参加できるイベントや活動の場となることが期待されています。
- 図書館は、市民の主体的な学びのための拠点として活用される場所です。図書館資料の充実とともに、地域の課題解決や、調査・研究の支援をはじめ、広域な視点から情報を提供するレファレンスサービス<sup>\*</sup>、展示、企画コーナーの充実など、様々なサービスが求められるようになっていきます。
- 小牧市図書館は昭和52年に建設され、施設の老朽化及び狭隘化が進んでいます。また、階段が多く、学習専用のスペースがないなど、利用者にとって使いにくい構造上の問題も指摘されていることから、誰もが使いやすい中央館機能を有した新図書館の建設の必要性が高まっています。
- 図書館本館のほか、各市民センターに「図書室」、ラピオ4階に「えほん図書館」が設置されています。誰もが気軽に本に親しむことができるよう、各施設のネットワークを強化するなど、図書館サービスのさらなる向上が求められています。
- 新図書館の施設については、時代に対応した施設環境と、市民ニーズに応じた図書館サービスを提供できる体制整備を行っていく必要があります。また、これからの図書館は、図書資料の提供だけでなく、市民が集まることのできる、地域の情報収集や活動の拠点としての機能が必要とされています。

取組	内容	担当課
図書館資料の充実	<p>幼児から高齢者まで、また、障がい者、外国人など、すべての市民に対応できる多種多様な資料を整備します。また、<b>信長文庫や象山文庫などの郷土資料のデジタル化や貴重な資料の保存に努めます。</b></p>	図書館
レファレンスサービス※の充実	<p>市民の日常生活や趣味、仕事に関する様々な課題を解決するため、<b>の資料や調べものに役立つデータベースなどにより適切な情報の提供を行います。また、メールによるレファレンスを実施します。</b></p> <p>が適切に行えるように、職員の専門的力を高めます。また、新図書館建設にあたっては、レファレンス専用のカウンターを設置します。</p>	図書館
展示、企画コーナーの充実	<p>市民の日常生活や教養、時事に関するテーマで図書を紹介します。また、<b>小牧市の地域ブランドコーナーを設置して、市の事業や施策に関する関連資料の展示など、多様な視点で図書館資料を活用します。令和3年度に本市が「SDGs 未来都市」として国から選定されたことに併せ、SDGsに関する各分野の資料を紹介</b>します。</p>	図書館
イベントの充実	<p><b>図書館主催の事業に加え、市民活動団体等との連携により、多くの市民が参加できるイベントの充実を図ります。</b></p>	図書館
障がい者サービスの充実 <b>実施</b>	<p>様々な障がいのある市民が図書館資料を利用できるように、施設の改善や<b>障がい者サービスの実施</b>に取り組みます。</p>	図書館
図書館・各図書室等の連携	<p>各施設の役割に応じて、適切な図書館サービスを提供できるよう、資料の充実、巡回便の増加などバックアップ体制やネットワークの強化に努めます。</p>	図書館
電子図書館の充実	<p><b>図書館に来館しなくても、読書を楽しんでいただくためにホームページ上に「こまき電子図書館」を中央図書館の開館と同時に開設しました。貸出等利用状況を見ながら資料の充実を図ります。</b></p>	図書館
新図書館の建設	<p>時代の要請に対応した機能を備えた新図書館の供用開始を目指します。</p>	新図書館建設推進室

